

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600066	事業の開始年月日	平成19年4月1日
		指定年月日	平成19年4月1日
法人名	株式会社 寿エンタープライズ		
事業所名	グループホームいずみ		
所在地	( 〒245 -0016 ) 神奈川県横浜市泉区和泉町7600		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和2年2月21日	評価結果 市町村受理日	令和2年6月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・グループホームいずみでは、「ゆっくり、一緒に、楽しく」をモットーに、入居者様の気持ちを大切にしながら、笑顔の絶えないホーム作りをしています。

・お一人お一人が、今持っている力を活かして掃除や洗濯、料理の準備など、出来ることをしていただき、自身の存在意義を実感してもらっています。天気の良い日は、庭に出てお茶を楽しんだり散歩したりと穏やかな日々を送っております。

・職員との共同作業として、段ボールや折紙などを利用して季節毎の飾りを作成して、リビングに展示しています。更には、レクリエーションの一環として、ラジオ体操やオリジナル体操を毎日元気に行っています。

・地域との交流では、獅子舞、初詣、鯉のぼり大会、盆踊の他、子供神輿や太鼓などがあります。また、地域のボランティアからは、マンドリン、ギター、三味線の演奏や日本舞踊の舞いなどの協力があります。

・月々の行事やイベントでは、入居者様・ご家族様や近隣の方々と共に楽しんでおり、敷地内の畑では、四季折々の野菜を収穫し調理して、季節感を味わっていただいております。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
調査日	令和2年5月26日	評価機関 評価決定日	令和2年6月9日

## 【事業所の優れている点】

◇「年度目標」を明確にした利用者への支援

・「愛と思いやり、個人の尊重、生活のリズム、地域に愛される」を、キーワードとした理念の実現に向け、職員は、「利用者との触れ合いを大切にし、居心地よく過ごしていただく」を、今年度の事業所目標に掲げ、一人一人の現状や意向に即した支援を行っている。

・職員は、利用者が在宅時と同じように安心して日々の生活が送れるよう、個々のペースを大切に支援を心掛けている。

◇利用者の地域住民やボランティアとの交流

・利用者は、地域のお祭りや盆踊りに招かれ、また、近所の方とは散歩時に挨拶を交わすなど、地域住民とは交流の機会が多い。一方、事業所のひな祭りやクリスマス会に地域住民が参加し、また、地域のお祭りでの「子供神輿」には休憩場所を提供し、子供たちにお菓子を配るなど、地域の一員として交流している。

・頻りに訪れるマンドリン、ギターや三味線の演奏、日本舞踊の舞いなどの地域ボランティアとの交流は、利用者の生活に彩りを添えている。

## 【事業所が工夫している点】

◇利用者を楽しませる毎月の行事の実施

・正月の初詣、4月の花見、5月の節句、8月の流しそうめん他、食事会など毎月多彩な行事が企画され、利用者を楽しませ生活を豊かにしている。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームいずみ
ユニット名	かぼちゃ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関と事務所の目の届く場所に掲示しています。毎月会議の中で月々の目標を決め、又、年間目標を朝の申し送り時に唱和して、再確認しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛と思いやりの心を持ったケア」など、4か条からなる理念実現のため、月間、年間目標を決めて支援している。</li> <li>・今年度の目標「利用者との触れ合いを大切にし、居心地よく過ごしていただく」を、毎朝唱和し確認共有して、日々のケアに反映している。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、夏祭りや、どんど焼きには、入居者様と共に参加して、ふれ合いを大切にしています。ホームでの行事には、地域の方をご招待して、親睦を深めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は、地域のお祭りや盆踊りに参加し、事業所のひな祭りやクリスマス会には、地域住民を招待するなど、地域との交流を図っている。</li> <li>・また、地元の神社に初詣に出かけたり、近所の方とは散歩時に挨拶を交わすなど、関係づくりに努めている。</li> </ul>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの新聞「ふれあい」を、自治会の回覧板に入れてもらったり、掲示板にも掲示してもらい、ホームの理解を得ています。散歩のときなど、近隣の方とのふれあい、会話をしたりと認知症への理解を深めて頂けるようつとめています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を通して地域との交流を深め、地域の方々から、地域の催事などの情報を得ています。ホームでの行事や事故についての報告を行い、意見交換をして指導を頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議には、区の高齢障害支援課の担当者や地域包括支援センターの職員、自治会長、民生委員や家族が参加して、2か月ごとに開催し、活動状況報告後意見交換をしている。</li> <li>・地域のイベントやボランティアの情報を得て、運営に活かしている。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護担当者とは、月1回面会し、入居者様の生活情報を伝え、相談、指導を受けています。地域ケアプラザとは、ケアマネ連絡会等の勉強会に参加し、意見・情報交換を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の高齢障害支援課に運営面の相談をし、生活支援課とは利用者の状況報告や相談をしている。</li> <li>・地域包括支援センターから、ボランティアを紹介してもらったり、センター主催の研修会に参加したりするなど、連携を密にしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族会の意向をふまえた上で、外部からの不審者の侵入の心配もあり、安全のために玄関と各階の入口は、施錠することで安全対策としてます。	・身体拘束等適正化検討委員会で、身体拘束やスピーチロックについて話しあい、身体拘束をしないケアに努めている。特に不適切な声掛けには注意している。 ・家族の了解を得て、安全上玄関とフロア入口は、施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議などで、虐待防止について勉強会を行っております。また、接遇委員の活動では、言葉による虐待について、具体的な事例を基に学び、虐待防止に努めています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度をすでに利用している入居者様については、後見人と情報交換を行い連携を取り合っています。職員の勉強会を行い、職員の理解を深めるようにしています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、出来る限り利用者様やご家族様に見学をお願いし、施設の雰囲気を感じて頂き、不安の軽減に努めています。契約時には十分時間を取って説明をし、疑問・質問にお答えし、納得を得た上で安心して入居頂けるように心掛けています。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各階に意見箱を設けています。面会時には、個別に意見をお伺いし、家族会にて再度話し合い、その意見を反映していけるよう努めています。	・面会に来訪する家族から、意見や要望を聞き、年3回の家族会でも行事やサービス内容、職員の対応を聞いて、改善や運営に反映している。 ・本人の意見や要望は、些細な表情や仕草も見逃さず、実現に向けて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議を通じて、出し合った意見を検討し反映させています。また、必要に応じて本社から担当者に同席してもらい意見や提案を聞いてもらう機会を設けて、反映させています。	・会議や面談の他、日常的に職員意見の聴き取りに努めている。改善提案は、まず試してみるなど、職員の意見を聞き、反映する姿勢がある。 ・行事や行事食、飾りつけなどで職員の意見を聞き出し、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間休日120日の確保とシフトに融通性を持たせ働きやすい環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修には積極的に参加し、発表の場を設け全職員に研修内容が把握できるようにしています。内部では食中毒感染予防やターミナルケア・虐待防止等の研修も行いました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の研修・意見交換に出席し情報収集に努めています。また、他の施設と職員の交換研修にも積極的に参加して、サービスの質の向上に役立てていく取り組みをしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談後、実施調査にお伺いして、実情を把握することによって、ご本人様との信頼を築いています。入居後、行動や表情の変化を見守り、声かけをしながら、ご本人様に寄り添い、不安を和らげるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方が話しやすい雰囲気作りをし、その思いに耳を傾け、御家族様の不安を取り除けるように努めています。見学時には年間行事の写真をご覧いただき、ホームへの理解の一助としています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームが、どのような場所であるかをお伝えし、ご理解いただく。ご本人さまの状態やご家族様の心境などに配慮し、サービスを開始しています。前もってご要望などの思いを書いて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	1つの家族であるという認識の下、共用スペースの掃除や食器拭きなどを職員と共にしています。又日常生活を共にする事により関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へは、入居者様のホームでの生活の様子を、毎月のお便りにて報告し、行事や家族会へのご参加を頂いております。来設頂いた折には、ご家族様の思いや、ご要望をお聞きし入居者様の支援に反映しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方が気軽に訪問できる環境作りをしています。又、行きつけの美容院や病院受診、ガイドヘルパーさん対応により行きたい所への外出支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友人の来訪時には、居室に案内してお茶を出すなど、寛いで過ごせるよう支援している。</li> <li>・馴染みの美容院や思い出の場所への外出希望には、家族やガイドヘルパーの協力を得て、関係の継続を支援している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩等を通し、利用者様同士が会話を楽しんだり協力し合えたりする関係を築けるよう支援しています。毎月製作する壁飾りやカレンダー作りは、個々の能力や個性を生かし、皆で作る喜びを共有し合えるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、行事などにお誘いしたり又、次の入居先へ訪問や面会に出掛け、交流の場としております。郵便物の返送の折には、近況を伺ったりし、相談支援も行っております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を、普段の生活の中や日常会話からくみ取りながら把握するように努め、ご希望に添えるように支援しています。	・利用者との日頃の会話や表情から、思いや意向の把握に努めている。意向把握が困難な場合は、表情や態度を観察し、記録や家族の話を参考に、本人本位に検討している。 ・把握した利用者の意向は、記録や申し送りにより職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の今までの暮らしを尊重し、日常生活で行ってきたことは、ホームでも継続できるよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを崩すことのないように、現状把握に努めています。小さな変化を見逃さず、状況を把握しながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の望んでいることを把握し、日常の変化など、職員間で情報を共有しています。ケアカンファレンスでモニタリングを行い介護計画に生かして役立てています。	・アセスメント、モニタリングの結果を基にカンファレンスで、本人・家族の意向に医療関係者の意見を入れて、介護計画を作成している。 ・6か月ごとに作成する介護計画は、3か月ごとにモニタリングし、心身に変化があった場合は、都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の個々の身体状況や、言動の変化などを記録する。職員間で共有・理解して確認の上、ケアに活かしています。又、新たな変化も随時記録・伝達して計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様・ご家族様の今現在のニーズの把握に努めています。個々の生活史を尊重し、ケアプランに準じながらも、柔軟に変化させたサービスの提供を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民の方に行事に参加して頂いて入居者様と交流を深めています。ボランティアさんを通じ入居者様それぞれの趣味や特技を生かせるような交流が行われています。又、地域の行事にも参加させて頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問内科医・訪問看護、訪問歯科と情報を共有して、連携を取ると共にチームによる健康管理の支援を行っています。また他の医療機関への受診希望には柔軟に対応しています。	・家族の了解を得て、全利用者が事業所の協力医をかかりつけ医とし、月2回の訪問診療を受けている。訪問看護師が協力医と連携して、毎週利用者の健康管理を行っている。 ・同様に月2回、歯科医が往診して、口腔面での衛生管理に当たっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期の訪問看護の際、それぞれの入居者様の日々の情報を伝え、共有しています。入居者様に異変がある時は、随時、助言・指示を受けられる体制を整えています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携している医療機関には、定期的な訪問時に情報提供をしています。他の病院でも家族と医師の話し合いには、可能な限り同席をさせて頂き情報収集を行い、治療が速やかに出来るよう支援しています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に終末期に向けて、説明を行うと共に理解を得ています。重度化した場合はご本人、家族のご要望を考慮し、病院、各関係者と連携を密にし、その人らしい終末期を迎えられる様取り組んでいます。	・入居時に「重度化対応指針」を本人と家族に説明し、同意書を得ている。 ・重度化した場合、家族、医師・看護師と職員が連携し方針を共有支援しており、看取りの実績もある。 ・訪問看護師を講師に看取りの研修を行い、対応や心構えを学んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に必要な情報を一つのファイルにまとめ、見やすいところに設置しています。消防署の出張研修を依頼したり、防災委員が研修会に参加して、他の職員にも情報を共有し、勉強会を行い職員が実践出来る様指導しています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月一回、災害時に備えて防災訓練を行っています。また年に2回消防署立ち合いの下夜間を想定した訓練を行っています。緊急連絡簿に地域の方の連絡先を記載し協力を得ています。	・消防署員が立会い、年2回の夜間想定を含め、毎月避難訓練を実施している。訓練には地域住民も参加し、連携して災害に備えている。 ・飲料水や米、缶詰など食料品の他、防寒具や簡易トイレ、衛生用品などを備蓄し、リスト管理している。	・水、食料品他災害発生に備えた物品が備蓄されていますが、追加した方が良い物品の有無を見直し、対応することが望まれます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、尊厳を保つよう一人ひとりに合った声掛けをしています。又、入居者様に寄り添い思いを大切に感謝の気持ちを持ったケアを行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー保護のマニュアルを整備し、採用時やユニット会議で、プライバシー確保や人格の尊重、接遇の大切さを学び、個人の尊厳を損なわないように対応している。</li> <li>・管理者は、職員の気になる言動には、その場で注意し指導している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で希望や思いを伝える事が出来るような環境作りに努めています。また、一人ひとりの入居者様とお話をする時間を作りそのお話から思いを汲み取る事が出来るよう心掛けています。ご本人が判断を決定出来る関係を築いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの生活リズムやペースを大切にし、入居者様の意思や尊厳を保てるよう支援しています。また、状況に応じて個別対応も行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の好みを尊重し、その人らしい身だしなみ出来る様支援しています。又季節に応じた衣類選びや訪問理美容により好みの髪方も伝え、希望に添える様に支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に献立を話題にした会話をしたり、味付けや盛り付けの工夫を行っています。又、もやしのひげ取り等、食材に触れて頂く機会を設けています。食後は食器拭き等手伝って頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者の献立による食材を受け、利用者の好みに配慮して職員が調理している。職員も利用者と一緒に食事している。</li> <li>・敬老の日やひな祭りなどの行事には、ちらし寿司や天ぷらなど利用者の好みのメニューを楽しんでいる。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取制限のある方や、嚥下障害などその方にあった食事形態で提供しています。食事量や水分量を毎日・毎食記録して、適正な食事・水分の摂取量や栄養バランスの確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは、入居者様一人ひとりに合った対応をし、毎食後に必ず行っていただいています。また、定期的に訪問歯科により、口腔ケアを実施し清潔保持に留意して病気の予防につなげています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の生活リズムに合わせてトイレ誘導を行い支援しています。又介助が必要な入居者様にはさりげない声かけを行い自尊心への配慮を行っています。	・トイレでの排泄を大切に、排泄チェック表でパターンを把握して、本人のサインや仕草を見逃さないようにトイレに誘導している。 ・個々の状況の変化に合わせて、リハビリパンツやパットの使用を検討して、本人の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を把握し個々に応じ、飲食物に考慮しています。また、訪問Dr・NSと相談しながら排便コントロールを行っています。また、運動などを日常生活に取入れ自然排便につなげて居ます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルサインや日々のご様子から体調を見極め、週3回入浴していただいています。また、入浴中に会話・唄などを取り入れリラックスして気持ちよく入浴していただける様に努めています。	・入浴は週3回を基本に、安全に気持ち良く入浴してもらうため、利用者の体調により柔軟に対応している。 ・会話を楽しみたい利用者には話しかけ、一人ゆっくり入浴したい利用者には、脱衣室から見守るなど、利用者に合わせて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に合わせて室温を調整すると共に、冬季には加湿器、または濡れタオルなどにより、湿度も調整する事によって、安眠につながるよう支援しています。又、昼食後に午睡を取っていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を所定の場所に保管し、随時確認できるようにしています。日々の利用者様の状態を医師に報告し、薬を処方して頂いています。服薬時は、氏名・日時・薬袋数を点呼し、カップに薬を入れ2名の職員の目視確認により服薬して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみながら体を動かせるようなレクリエーションを考慮して、支援しています。張り合いや喜びのある日々を過せるように、一人ひとりの生活歴や、力を生かした役割・楽しみごとが出来るよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内や近隣で外気浴をしています。年2回企画する外食会を企画し参加しています。個々によりガイドヘルパーを利用しバス、電車で外出・買い物を楽しむ方もいらっしゃいます。外食の際は、利用者がメニューを選んでおります。	・天候や利用者の体調に応じて、近くの遊水地まで散歩したり、玄関前の駐車場で歌を歌ったりゲームや体操をして外気浴を楽しんでいる。 ・外出支援を受けて、落語を聞きに出かけたり、碁会所で碁を楽しむ利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の残存能力を見極め必要に応じて代行や同行支援をしております。また、預かり金として小口現金ノートを作り管理をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様とのお電話の際は、他の利用者にも配慮しながら、居室で話していただくなどの支援をしています。また、入居者様へのお手紙などは、ご本人様にご覧頂き、そのあと整理保管していつでもご覧頂ける様にしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング等の共用空間に、季節が感じられるカレンダーや塗り絵、壁飾りなどを掲示しています。トイレ、居室、浴室などには、貼り紙をする等して分かり易くしています。照明・空調等入居者様の安全や体調に配慮し、こまめに調整しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が利用者の様子を観察し、気持ちよく過ごせるよう室温と湿度を調節している。</li> <li>・ひな祭りにはお雛様、七夕には笹飾り、お月見にはススキを飾り、また利用者が職員と作るカレンダーや秋桜などの装飾品で、季節を演出している。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席やソファ、畳コーナーなど、さまざまな居場所を造っています。またリビングには、常時パズル、塗り絵、本などを置き、自由に楽しんで頂ける様、配慮、工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご本人の意思を尊重し、家具は使い慣れた物を使用し、ご家族様からの手紙や写真を飾っています。今まで、過されていた空間に近い部屋作りに努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン、クローゼットが設置された居室に、使い慣れた家具や仏壇などを持ち込み、壁には家族の写真などを貼り、心地良く落ち着いて過ごせるように工夫している。</li> <li>・担当職員が部屋の掃除や季節に合わせて衣類の入れ替えを支援している。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口やトイレなどに、利用者様がわかりやすいよう、名札やポスターなどを表示しています。また、食器拭きや掃除など、できることはして頂き、危険の無い様見守り支援をしています。		

事業所名	グループホームいずみ
ユニット名	トマト

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関と事務所の目の届く場所に掲示しています。毎月会議の中で月々の目標を決め又年間目標を朝の申し送り時に唱和し、再確認しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、夏祭りや、どんど焼きには、入居者様と共に参加し、ふれあいを大切にしています。ホームでの行事には、地域の方をご招待し親睦を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの新聞「ふれあい」を、自治会の回覧板に入れてもらったり、掲示板にも掲示してもらい、ホームの理解を得ています。散歩のときなど近隣の方とのふれあいや会話をしたりと認知症への理解を深めて頂けるようつとめています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を通して地域との交流を深め、地域の方々から、地域の催事などの情報を得ています。ホームでの行事や事故についての報告を行い、意見交換や指導を頂いています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護担当者とは、月1回面会し、入居者様の生活情報を伝え、相談、指導を受けています。地域ケアプラザとは、ケアマネ連絡会等の勉強会に参加し、意見・情報交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族会の意向をふまえた上で、外部からの不審者の侵入の心配もあり、安全の為に玄関と各階の入口は施錠することで安全対策としています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議などで、虐待防止について勉強会を行っております。又、接遇委員の活動では、言葉による虐待について、具体的な事柄を元に学び、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度をすでに利用している入居者様については、後見人と情報交換を行い連携を取り合っています。勉強会を行い、職員の理解を深めるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、出来る限り利用者様やご家族様に見学をお願いし、施設の雰囲気を感じて頂き、不安の軽減に努めています。契約時には十分時間を取って説明をし、疑問・質問にお答えし、納得を得た上で安心して入居頂けるように心掛けています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各階に意見箱を設けています。面会時には、個別に意見等をお伺いし、家族会にて再度話し合い、その意見を反映していけるよう努めています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議を通じて出し合った意見を検討し反映させています。また、必要に応じて本社から担当者に同席してもらい意見や提案を聞いてもらう機会を設け反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間休日120日の確保とシフトに融通性を持たせ働きやすい環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修には積極的に参加し、発表の場を設け全職員に研修内容が把握できるようにしています。内部では食中毒感染予防やターミナルケア・虐待防止等の研修も行いました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の研修・意見交換に出席し情報収集に努めています。また、他の施設と職員の交換研修にも積極的に参加しサービスの質の向上に役立てていく取り組みをしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご要望をお聞きし、ご本人の状態に合わせ、ご本人様が安心できるような関係づくりに努めています。またご本人の状態やご家族様の心境に配慮しサービスを開始しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様のご要望・ご相談に真摯に向き合い、お応えしながら、信頼関係づくりに努め、出来る限り不安を取り除き安心して生活がスタート出来るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームが、どのような場所であるかをお伝えし、ご理解いただく。御本人様の状態やご家族様の心境などに配慮し、サービスを開始しています。前もってご要望などの思いを書いて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一つの家族であるという認識のもと、職員と共に出来る事を行い助け合い支え合って日常生活を送り暮らしを共にする者同士の関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームでのご様子を近況報告でお伝えすると共に、行事や家族会を通じご本人様とご家族様の絆を大切にしながら、職員との関係も密にし共にご本人様を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居前に大切にしてきた馴染みの人や場所を関係が途切れないように、できるだけ外出できるよう支援しています。また、ご友人の方も訪問しやすい雰囲気作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性や、利用者様同士の関係を把握し、それぞれの個性を生かしながら、より良い環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、行事等へのお誘いの電話やご案内をしてこれまでの関係性を大切にしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を、普段の生活の中で、日常会話からくみ取りながら、把握するように努め、ご希望に添えるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様などと良くお話しし、ご入居前の生活歴や、サービス利用等の把握に努める。生活歴を反映させた、馴染みの暮らしが出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの基本的な生活パターンの把握に努め、心身状態の変化などを、細かく記録して、現状の把握に努める。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様の変化や課題に対し、ケアカンファレンスを行い必要に応じ医師の相談、指示を仰ぎご家族様に伝えていく。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様一人一人の一日の様子や気づき変化などを個人記録に記入し申し送り職員間での情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃から、利用者様の健康状態を把握する。特変など、異常時は、速やかに訪問内科・訪問看護と連携すると共に、種々期間への送迎・付添といった対応も柔軟にしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民の方に行事に参加して頂いて入居者様と交流を深めています。又地域のボランティアを通じ入居者様それぞれの趣味や特技を生かした交流に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問内科・訪問看護との連携を取ると共に、利用者様が希望する医療機関などへの受診できるよう対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護等には、日々の心身の状態や情報・気づきを伝え指示を受けながら、利用者様が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問内科・訪問看護と定期的に情報交換をし、入退院時においても適切な対応が出来るように支持協力を得ています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時には、終末期についての説明は行っています。重度化・終末期の場合の取組対応としては、本人御家族の要望を取り入れながら、今後の治療に向けての話し合いを行い、医療との連携を密にしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えて緊急時における対応の講習及び実習を定期的に行い全ての職員が対応できるよう実践力を身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の立会いの下、夜間を想定した訓練を行っています。また、毎月1回災害時に備えて防災訓練を行っています。地域の方のご協力・ご参加を頂く体制も築いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重し、尊厳を保つよう一人ひとりに合った声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で希望や思いを伝える事が出来るような環境作りに努めています。また、一人ひとりの入居者様とお話をする時間を作りそのお話から思いを汲取る事が出来るよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの生活リズムやペースを大切に、入居者様の意思や尊厳を保てるよう支援しています。また、状況に応じて個別対応も行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の好みを尊重しその人らしい身だしなみが出来るよう支援しています。また、季節に応じた衣服選び等も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に献立を話題にした会話をしたり、もやしのひげ取り等、食材に触れて頂く機会を設けています。また食事前のテーブル拭きや食後の食器拭き等手伝って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取などを記録し、1日に必要な摂取量を確保すると共に一人一人の状態に合わせた食事形態を行いバランスの取れた食事が出来るよう工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりに合った口腔ケアを実施して頂いています。また訪問歯科にてクリーニングを行う場合もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の生活リズムに合わせてトイレ誘導等を行い支援しています。また、介助が必要な入居者様には定時に声掛け・誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を把握し、個々に応じ飲食物に工夫しています。また訪問Dr・NSと相談しながら排便コントロールを行っています。毎日体操を行い、便秘の予防支援をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルサインや日中のご様子から体調を見極め、入浴して頂いています。また、入浴中に会話・歌などを取り入れ楽しい時間を過ごして頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は共有スペース各居室で休息を取っていただいています。夜間は各居室の温度や寝具の調整を行い冬季には加湿器を使用しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は、必ず名前を確認し、御本人様の前で名前をお呼びして、再度、確認をしてから服用して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活に張り合いが持てるよう入居者様一人一人が日常生活の中で体操やレクリエーションをして頂けるように対応しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内や近隣に外気浴に行ってます。年2回外食会を企画し参加して頂いています。個々によりガイドヘルパーを利用しバス、電車に乗って、外出・外食を楽しんでおられる方もいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の残存能力を見極め必要に応じて代行や同行支援をしております。また、預り金として小口現金ノートを作り管理を行っております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各入居者様の状況や御様子を毎月お手紙や、写真でお知らせし、随時お電話にてお伝えしています。又利用者様の要望に応じ電話を利用して頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に行事の写真や入居者様と一緒に作成した装飾品を飾っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングは自由に過ぎて頂ける場を設け入居者様同士の談話やテレビ鑑賞しています。居心地の良い場所になるよう日々工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には御本人の意思を尊重し、家具は使い慣れた物を使用いただき、御家族様からの手紙や写真を飾っています。今迄過ごされていた空間に近い部屋作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入口に名前を付け認識して頂き自由に行きき出来るよう支援すると共に安全な生活が出来るような工夫をしています。自立支援が出来るよう残存機能を見極め理解し安全に過せる生活を支援しています。		

# 目標達成計画

事業所名 グループホームいずみ

作成日 令和2年6月22日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害発生時に備えた物品の追加の見直しが望まれる。	備蓄リストの見直しを行っていく。	飲料水、米、缶詰などの賞味期限の見直しや、追加する物品の有無の確認をしていく。	12ヵ月
2					
3					
4					
5					